万葉歌碑をウォーキング!!

シリーズII　本薬師寺跡～紀寺跡～別所池～鷲栖神社　方面

1．本薬師寺跡（もとやくしじあと）

現在奈良市の西の京にある薬師寺の前身にあたる寺である。天武天皇が後の持統天皇である皇后の病気平癒を祈願して、薬師如来を本尊とする寺を建立。跡地には、金堂の礎石や東西両塔の心礎などが残されている。
周囲1.4haの水田には、9月頃美しい紫色の花、ホテイアオイが一面に広がる。

❶史跡入り口には、大伴旅人（おおとものたびと）の歌碑がある。（揮毫者：黒岩重吾）

わすれおうｙ草　わが紐（ひも）に付く　香具山の
故（ふ）りにし里を　忘れむがため

2.紀寺跡（きでらあと）　県史跡

紀寺跡は小山廃寺ともいわれ、藤原京左京八条二坊に位置する。昭和48年（1973）以来の発掘調査で金堂跡・講堂跡・中門跡・回廊跡・南大門跡・南面と東面の大垣などが確認されている。しかし礎石がほとんど残らないことから、詳細な建物規模は明らかではない。
遺跡名は大字小山字キデラに由来しており、古代の有力豪族である紀氏の氏寺ともいわれている。その一方で国によって建てられた官寺とも考えられている。創建年代は７世紀後半である。

道を挟んで向かい側の明日香庭球場の管理棟の横を東に100m余り進んだところに万葉歌碑がある。

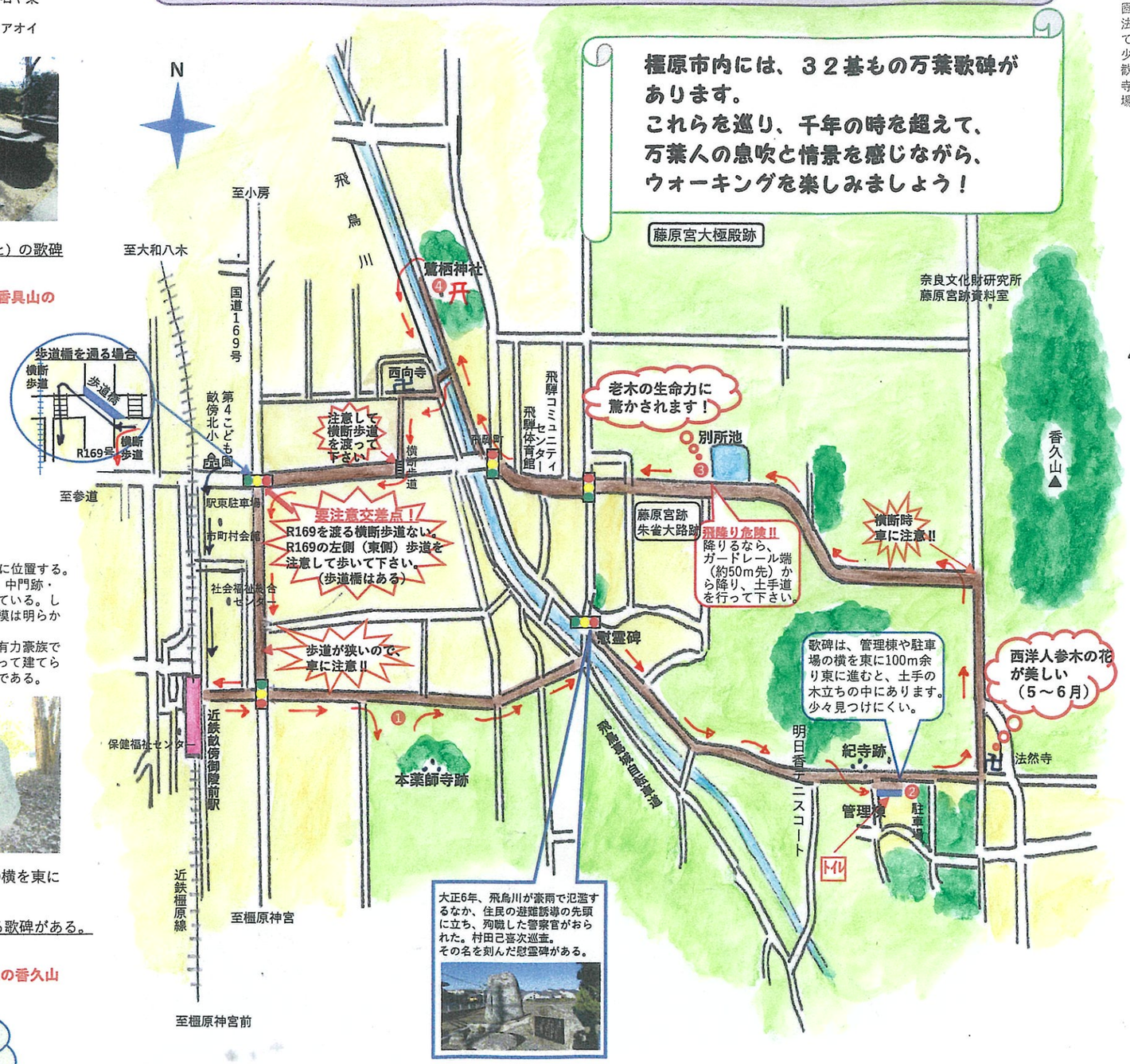
❷作者は不詳だが、揮毫者が清水公照氏による歌碑がある。

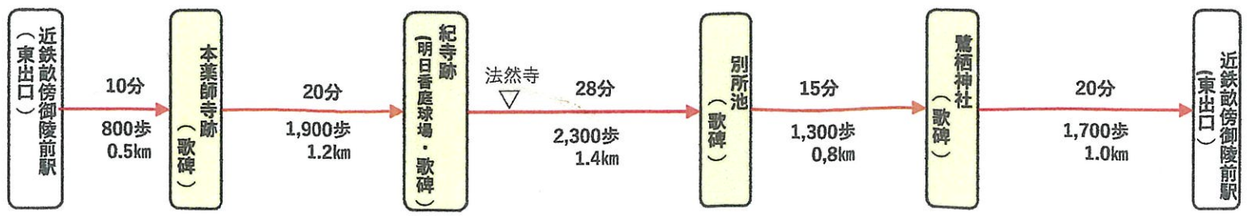
いにしへの　事は知らぬを　われ見ても
久しくなりぬ　天の香久山

自分の体調に合せて
ウォーキングを
楽しんでください!!

行程	93分、8,000歩、4.9km

※：時間、距離、歩数は目安です。





3．法然寺（ほうねんじ）

浄土宗の寺院。表門・本堂・鐘楼・客殿・庫裡・墓地があって、境内はかなり広く、客殿座敷に面して、香具山を背景に美しい庭園があり、この地方には珍しい名園だ。
法然寺は鎌倉時代の初めごろ、法然上人が高野から「橘寺」を経て御帰還の途上、この地に巡錫（じゅんしゃく）され、この地に少林院を開いて念仏化導の道場とされた。その後、知恩院第26代歓蓮社保誉源派上人（日野大納言豊光卿のご令息）が隠居され、寺号を法然寺と称するようになった。現在は、法然上人霊蹟25霊場の第10番札所になっている。

4．別所池（べっしょいけ）

❸藤原京を望む朱雀大路跡のある別所池の西南堤に万葉歌碑がある。
作者は不詳だが、揮毫者が司馬遼太郎氏による歌碑がある。

藤原の　古（ふ）りにし郷（さと）の
秋萩（あきはぎ）は　咲きて散りにき
君待ちかねて

5．鷲栖神社（さぎすじんじゃ）

御祭神は、右殿に天児屋根命（あめのこやねのみこと）、中殿に誉田別命（ほんだわけのみこと）、左殿に天照皇太神（あまてらすすすめらおおかみ）の三柱。建立の年代は詳らかではないが、延喜式内社として古くから広く知られていることから考えて、千数百年以前の、藤原京以前の旧社と思われる。
古事記によれば、垂仁天皇の皇子、本牟智和気皇子が出雲大社にご参拝の折、ここにお立ち寄りになり御祈願されたとある。

❹境内には、柿本人麻呂の歌碑（揮毫者：山本雨宝）がある。

ひさかたの　天（あめ）知らしぬる
君ゆゑに　日月もしらず
戀（こ）ひ渡るかも

令和２年２月作成
橿原市運動普及推進員協議会